

点眼・軟膏アレルギーにおけるパッチテスト陽性率に関する研究

1. 研究の対象

高知大学医学部附属病院眼科において2007年1月1日から2024年3月31日までに当院にて点眼あるいは眼軟膏による薬剤アレルギーに対してパッチテストを施行された患者さんを対象にします。

2. 研究目的・方法

研究目的)

眼や目の周囲の病気の治療に使用する点眼や軟膏により、かゆみなどのアレルギー症状や接触性皮膚炎（皮膚のかぶれ）が生じる場合があります。例えば緑内障のような疾患では多数の点眼を使用しているため、原因薬剤の確定が難しく、被疑薬として多くの薬剤を休薬せざるを得ないことが現状です。アレルギーを起こした原因薬剤の同定に、パッチテストが有用であると考えられており、他領域では広く用いられていますが、点眼薬や眼軟膏などの眼科領域ではその有用性について検討された報告は多くありません。そこで今回高知大学医学部眼科学教室は附属病院に通院され当院にて点眼あるいは眼軟膏による薬剤アレルギーに対してパッチテストを施行された患者さんを対象に、パッチテストの陽性率を調査することとなりました。

方法)

2007年1月1日から2024年3月31日までに点眼あるいは眼軟膏による薬剤アレルギーに対してパッチテストを施行された患者さんを対象者として、パッチテストの陽性率、原因薬剤、原疾患等を診療記録より収集します。

研究期間は倫理委員会承認日から2025年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報については診療記録より収集します。この研究のために新たに検査や試料採取することはありません。

取得する情報:パッチテストの陽性率、被疑薬剤、薬剤の使用期間、原疾患、アレルギーの症状、性別・年齢等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の

方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学医学部附属病院眼科 TEL 088-880-2638 FAX 088-880-2189

研究責任者：高知大学医学部附属病院眼科 中平 麻美